

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1199
施設名	このはな保育園
施設所在地	小平市花小金井7-27-1
法人名	社会福祉法人小松福社会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

さつまいも

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など) 毎年秋に、年中児と年長児はさつまいも掘りに行っている。さつまいもを掘るという共通体験を探究活動に活かしたいと考えたため。今年度はさつまいも畑を新たに職員と子どもが開墾し、さつまいもの苗を植えた。年少児がさつまいもの収穫を体験できるようにした。

2. 活動スケジュール

(年中長児)	(年少児)
農園のさつまいも畑の下見に行く	・職員と年長児が畑を開墾する
さつまいもの収穫をする	・年長児がさつまいもの苗を植える
さつまいもの活用を話し合っで決める	・年少児がさつまいもを収穫する
さつまいもを調理して食べる	

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具) 保育園の畑の環境作り(畑の開墾、さつまいもの苗、土、肥料を購入)、さつまいも畑を契約、保護者への連絡(水筒、リュック等持ち物準備の案内)、話し合ったことを共有(ホワイトボード、マジック)クッキング用品(鍋、コンロ、包丁、ザル、ボウル、はかり等)記録用パソコン
--

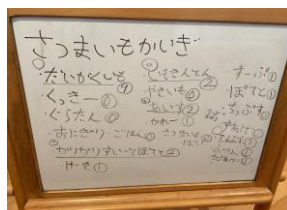
4. 探究活動の実践

<活動の内容>

年中長児は、園から徒歩40～50分の農園に行き、さつまいも掘りを行う。年少児は保育園の畑のさつまいもを収穫する。さつまいもを使って何をするか、話し合う。話し合いの結果、クラスごとにスイートポテトアップルパイ、芋きんとんとスイートポテトを作ることになった。クラスごとに調理し、食べた。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

年中長児は、さつまいも畑に下見に行く。芋掘の日には、「だいがくいもにして食べたい」「イモきんとんがいいな」など、収穫して、何を作るか話していた。クッキングの話し合いは、クラス全員で決め、当日までクッキングすることを心待ちにしていた。当日は、さつまいもの形態が変わる様子を保育者に伝えていた。出来上がると「甘い!」「もっと食べたい」と話し、おかわりをしていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た保育者の気づき>

さつまいも掘りという共通体験のきっかけは保育者だったが、後のさつまいもの活用をクラスの子どもたち全員で話し合い、年中長児だけでなく、年少児も自分の作りたい物を話し、主体的に活動に参加していた。作りたい物が決まると、作業の分担も子どもの意見を取り入れて決めた。自分の分担ではない作業の時も、注目して応援の声をかけたり、五感で感じたことを言葉に表す姿がみられた。収穫したさつまいもを切る、茹でる、潰す、等の過程を経て、食べることを経験することができた。保護者と一緒に作りたいと話すがいて、園だけでなく家庭でも楽しむ姿が見られた。